

基地住民の人権侵害

イタリアの弁護士が指摘

欧州の米軍基地問題に取り組むイタリアの弁護士のみコル・サビアさんⅡ写真Ⅱの講演会が10月31日、那覇市の県男女共同参画セン



ターているのであった。サビアさんは「基地は周辺住民の人権を侵害し、環境を汚染している」と指摘。「市民の連帯によって抵抗しよう」と呼び掛けた。

サビアさんは「現在世界中に約800の米軍基地があり、米国は基地の受け入れ国に対し、経済面と安全保障面のメリットがあると

説明するが、間違っている」と指摘。「インド洋の英領ディエゴガルシア島や沖縄では、基地建設のために住民が追い出され、基地内から有害物質が流れて問題になっている」と述べた。

安全保障面についても「欧州で米軍は、軍事訓練を積み重ねており、かえってロシアとの緊張を高めている」と指摘。子どもが訓練する車両や兵士と交流する機会も設けられており、教育上問題だとの認識を示した。